



Yokohama Arts Foundation

令和4年1月21日
(公財)横浜市芸術文化振興財団
大佛次郎記念館

木村伊兵衛、林忠彦、田村茂…写真家たちが撮影した大佛次郎肖像も 写し、写された大佛次郎「文士は必ずカメラを持て」展

横浜・港の見える丘公園のおさらぎじろう記念館では、作家・大佛次郎のカメラ愛、写真家たちとの交流を、写真約60点、関連資料約40点を展示して紹介しています。

第一章 写した、大佛次郎

作家・大佛次郎(1897～1973)は、「文士は必ずカメラを持て」とエッセイで語り、文士らの愛好家を集めて「鎌倉アマチュア写真会」を結成するほどのカメラ愛好家でした。愛猫などを写して楽しみながら、取材では「絶好のノート」としてカメラを活用した大佛の写真のうち、第一章では、雑誌等のメディアで発表された作品を中心に、大佛自身の文章とともに展示します。

第二章 写された、大佛次郎

第二章では、木村伊兵衛、山沢栄子、島村安彦、田村茂、林忠彦の5人の写真家による、初公開を含む大佛次郎や酉子夫人の肖像を展示します。また、木村伊兵衛と大佛を繋いだアマチュア写真家・竹田梅汀(たけだ・ばいてい)のエピソードや、林忠彦の写真集に大佛が寄せた序文の原稿(初公開)など、同じ時代を生き、大佛を写した写真家たちとの交流を紹介します。



大佛次郎撮影
上：《台所の猫》
下：《ニューデリー商店街》



木村伊兵衛撮影
[酉子夫人]
昭和初期



島村安彦撮影
[大佛夫妻、川奈ホテル]
1941年(昭和16)



山沢栄子撮影
[大佛次郎]
1942年(昭和17)



林忠彦撮影
[茶室の大佛次郎]
1969年(昭和44)

2階サロンではスライドショーで大佛写真を上映中！！

「大佛次郎のカメラ・アイ」

前期(～2/27まで)は右のスライドショー3本を、
3/1以降は①インド②講演旅行編などを追加上映予定。

- ①フランス 1958年、1961年 (約4分)
- ②大佛家のねこたち (約3分)
- ③奈良、京都 (約5分)



同時開催「大佛次郎×ねこ写真展 2022」公募ねこ写真 434 点を展示中！！

展示会期	2022年1月6日(木)～4月17日(日)	料 金	観覧料 大人(高校生以上) 200円 中学生以下 無料 ※横浜市内在住の65歳以上の方は無料(4月以降100円) ※毎月23日「市民の読書の日」と、第2・第4土曜日は高校生無料 ※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料
開館時間	～3月 10:00～17:00(入館は16:30まで) 4月 10:00～17:30(入館は17:00まで)		
休館日	月曜日(祝休日の場合は翌平日)		

情報掲載をよろしくお願い申し上げます。記念館取材及び広報用画像の提供が可能です。

お問い合わせ先

大佛次郎記念館 【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】
館長：福富潤子 広報担当：大房奈央子 展示担当：金城瑠以
TEL：045-622-5002 mail：osaragi@yaf.or.jp

文士は必ずカメラを持て

写し、
写された
大佛次郎

山沢栄子《大佛次郎肖像》
1942年

2022.1/6(木) → 4/17(日)

大佛次郎
ねこ写真展2022
同時開催

開館時間/3月末まで10:00~17:00(最終入館16:30)/4月10:00~17:30(最終入館17:00)

休館日/毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)

観覧料/一般 200円 中学生以下無料 20名以上の団体は150円

*横浜市内在住の65歳以上の方は3月まで無料、4月以降100円。(演ともカード等をご提示ください)

*障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。

*毎月23日(市民の読書の日)と第2、第4土曜日は高校生無料。

大佛次郎記念館 (公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)
The Osaragi Jiro Memorial Museum



〒231-0862 横浜市中区山手町113(港の見える丘公園内)

TEL:045-622-5002 FAX:045-622-5071 <http://osaragi.yafjp.org>

協力:横浜市民ギャラリーあざみ野

協賛:株式会社浦辺設計/株式会社ボンパドウル/横浜高速鉄道株式会社

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、予定を変更する場合がございます。ご来館の前にホームページ等で最新の状況をご確認ください。

文士は必ずカメラを持て

写し、
写された
大佛次郎

2022.1/6(木) → 4/17(日)

大佛次郎記念館テーマ展示Ⅲ

「文士は必ずカメラを持て」が持論だった作家・大佛次郎(1897～1973)。

旅先、取材、日々の暮らしと、さまざまな場面でカメラを活用し《写し》た大佛ですが、新聞雑誌の取材や、写真家の被写体として《写された》側でもありました。

本展では初めて写真をテーマとし、同時代の写真家が捉えた大佛次郎と同時に、カメラ愛好家であった大佛がファインダー越しに切り取った世界を紹介します。

<第一章 写した、大佛次郎>

大佛が撮影し、メディアに掲載された写真を中心に展示します。

<第二章 写された、大佛次郎>

写真家による大佛の肖像を、大佛家に残された旧蔵写真を中心に展示します。

【展示予定写真家】木村伊兵衛、島村安彦、竹田梅汀、田村茂、林忠彦、山沢栄子ほか



島村安彦《大佛夫妻》1941年



林忠彦《茶室の大佛次郎》1969年



大佛次郎《海》モデル：酉子夫人



大佛次郎《台所の猫》

関連イベント

大佛次郎が撮った、写真たち

スライドショー上映

会場：大佛次郎記念館 2階サロン

酉子(とりこ)夫人、友人たち、猫。
雑誌企画の講演旅行、
昭和30年代のインド、フランス。
当館所蔵の写真から、大佛次郎が覗いた
ファインダーの先の世界をご覧ください。



大佛次郎の愛機
ライカⅢf

同時開催

大佛次郎×ねこ写真展2022

～来て見て楽しい、猫いっぱいの写真展～

会場：大佛次郎記念館 1階ロビー

毎年恒例のアマチュア公募写真展。
今回は400点以上の“ねこ”写真が集まりました。

ねこ好きの方、
必見！



観覧料
無料

写真を撮る！同時開催イベント

あざみ野フォト・アニュアル2022

中井菜央 雪の刻 THE TIME RULED BY SNOW



中井菜央「雪の刻」/THE TIME RULED BY SNOW」シリーズより

横浜市所蔵カメラ・
写真コレクション展
「見る装置

19～20世紀のカメラの変遷」



ライカ I(A)/エルンスト・ライツ・
ゲーエムペーパー/1925年

会 期：2022年1月29日(土)～2月27日(日) 10:00～18:00 ※会期中無休
会 場：横浜市民ギャラリーあざみ野 展示室1・2

<https://artazamino.jp/>

〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3 tel.045-910-5656

アクセス：東急田園都市線「あざみ野駅」東口 徒歩5分、
横浜市営地下鉄「あざみ野駅」1・2番出口徒歩5分

写真・カメラで
盛り上がり！！

展示解説

【テーマ展示解説】 【たてものミニ・ミニトーク】

毎月第2土曜日

毎月第3土曜日

14:00～14:30

14:00～14:15

1/8, 2/12, 3/12, 4/9

1/15, 2/19, 3/19, 4/16

事前申し込み制、お申込みはHPより

春の和室公開2022

和室で桜をお楽しみください。もちろん写真撮影OK。

時期：3月下旬～4月上旬(未定)

公開は、和室利用のない日限定。

次回展示予告

「大佛次郎の中世ロマネスク」(仮)

4月23日(土)～8月21日(日)

鎌倉幕府3代将軍の数奇な運命をたどる時代小説
『源実朝』など、平安後期から戦国時代頃までの
中世日本が舞台の大佛作品を紹介します。

電 車

- みなとみらい線(東急東横線直通)元町・中華街駅下車(元町方面改札)6番出口(駅直結のエレベーター・エスカレーターを利用、アメリカ山公園経由)5番出口(谷戸坂経由) いずれも徒歩8分
- JR線(根岸線)石川町駅下車(元町口)徒歩20分

バ ス

- 神奈川中央交通バス11系統(桜木町駅～保土ヶ谷駅東口)
- 市営バス20系統(山手駅～桜木町駅)
- 観光スポット周遊バス「あかいくつ」
いずれも港の見える丘公園前で下車、徒歩2分

大佛次郎記念館

〒231-0862 横浜市中区山手町113

(港の見える丘公園内)

TEL:045-622-5002 FAX:045-622-5071

<http://osaragi.yafjp.org>

